

事務事業名	道路改良事業（市道1045号線）			担当	建設部 建設課 道路建設係	
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285-83-8149
施策名	05	道路ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）	
予算科目	1.一般会計	8.土木費	2.道路橋りょう費	3.道路新設改良費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 21 年度～ 29 年度）	
事業概要	・狭隘道路を解消し、安全で円滑な交通を確保することにより、効率的で機能的な道路ネットワークを構築する事業である。 ・西郷地内、市道107号線から東へ約200mの区間を、幅員5mに拡幅整備する事業である。					

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 26年度実績 ・関係地権者との協議 市道107号線から東に80mについては既に整備が完了し、残る120mにある未相続の共有地2筆について地元との調整を図った。 27年度計画 ・関係地権者との協議 未相続の共有地2筆について、引続き調整を図る。 ・路線測量	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称							
	ア	道路改良工事延長	m	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	イ	用地買収	件	9	0	0	0	0
	ウ	物件補償	件	12	0	0	0	0
エ	測量、設計等業務委託	件	1	0	0	0	1	
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・未改良道路及び道路利用者（市民）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称							
	ア	未改良道路延長	km	352.3	351.4	350.7	349.7	349.6
	イ	道路利用者（市民）	人	82,136	81,511	80,929	80,698	80,590
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・安全で円滑な交通の確保。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称							
	ア	整備率（事業費ベース）	%	37.4	37.4	37.4	37.4	41.5
	イ	市道改良率	%	72.4	72.5	72.6	72.7	72.7
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・道路ネットワークの整備	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称							
	ア	道路の整備状況が良いと感じている市民の割合	%	61.6	62.1	62.2	58.7	60.9
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	9,628	0	0	0	0
	事業費計(A)		千円	9,628	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	0
		延べ業務時間	時間	40	10	10	10	0
		人件費計(B)	千円	170	42	41	42	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	9,798	42	41	42	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・平成10年1月地元区長及び、関係者から拡幅要望書が提出されたことによる。 ・平成16年7月市生活道路事業評価委員会にて路線の評価を行い事業の優先順位付けし、平成20年7月同委員会において事業採択を決定している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・接続する市道107号線が平成26年2月に主要地方道宇都宮真岡線から国道121号まで全線開通し、交通量の増加が見込まれる。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・地区住民から早期完了を望まれている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・狭隘な道路を解消し、安全で円滑な交通を確保することは道路ネットワークに結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は不特定多数の人が利用するものであり、市が行うことは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・道路利用者の連絡道路として、また地域住民が生活道路にも利用する道路であり、対象は適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・ほぼ計画通り進行している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・廃止・休止した場合、道路利用者及び、地域住民は通行に危険がある狭隘な道路を通行しなければならない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない ・現道を拡幅整備するものであり道路改良事業以外方法がない。 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・測量、設計業務について、積算基準等に基づき適正に実施しており削減余地はない。 ・再生素材を利用する等コスト削減を図っている。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・事業説明会から設計・監督業務まで必要最小限の人員で行っている。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・道路は不特定多数の人が利用するものであり公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							